明スポ

入江 DeNA

2016 2017 2018 2019 2020

▲横浜DeNAベイスターズから単独1位指名を受け、DB．スターマンを片手に笑顔の入江（撮影者：荒川千那）

2020プロ野球ドラフト会議が10月26日に行われ、入江大生投手（政経4＝作新学院）が横浜DeNAベイスターズ（以下、横浜）から1位指名を受けた。187センチの長身から投げ込む、最速153キロの直球とキレのあるスライダーが持ち味だ。高校3年次の夏には背番号"1"を今井達也選手（埼玉西武ライオンズ）に譲り、打者としてチームの全国高校選手権優勝に貢献した。大学入学後は投手に再挑戦。4年次はエースの役割を果たした。打者ではなく、ついに本職でその名をとどろかせる。

安堵と覚悟

「第1巡選択希望選手、横浜DeNA、イリエタイセイ……」。寮に設置されたテレビから、自身の名が響く。報道陣のフラッシュの中、主役は一人大きく息を吐いた。「本当にほっとした」。

ちょうど1年前、先輩の森下暢仁選手（令2政経卒・現広島東洋カープ）らがドラフト指名を受ける姿を見て「来年は頑張る。自分ならいける」と覚悟を語った。誰もが認める"投手"を目指し「人より多く、人より前へ」。背番号"11"の責任感から、誰よりもたくさんの汗を流してきた。思うように結果が出ず、悔し涙を流す時もあった。あの日からずっと思い描いた光景。「まだ実感が湧かない。まさか1位で指名していただけるなんて」。だが、喜びをかみ締めたのもつかの間。少しずつ芽生える、プロ野球選手になる自覚と責任から「これから結果でお返ししたい」。鋭く前を見据えた。

勝利の女神もほれた男

出会いと運

ドラフト直前に真価を見せつけた。力みがちで思うような投球ができずにいた今秋、迎えた法大1回戦。9回13奪三振と、起死回生の完封劇を披露。一気にドラフト1位を引き寄せた。これまでも「何かが懸かった一戦で力を発揮してきた」。土壇場での快投は、一時の偶然ではなかった。

「人や運に恵まれているところが最大の長所」。作新学院高時代の恩師・小針崇宏監督や岩嶋敬一部長、さらに母・小夜里さんまで口をそろえる。振り返れば、ずっと誰かが上にいた。高校時代は今井選手、大学では森下選手や伊勢大夢選手（令2営卒・現横浜）。それでもそばには「どれだけミスしても外されなかった」と信じ続けてくれた小針監督や、投手の才能を買ってくれた善波達也前監督が。4年次には「日の目を見るときが来た」（田中武宏監督）。上級生の陰で力を付けてきた入江を一番近くで見守ってくれた田中監督がいた。

環境と習慣を大事にすること。日々当たり前のことをこなして、徳を積んでゆく。いざとなったときにその巡り合わせが助けてくれる――。小針監督から得た教訓だ。明大でも私生活重視の指導の下"人間力"を磨いてきた。時間を守る、ゴミを拾う……。高校、大学と、毎日積み重ねてきたこと。それは人生の局面でも、決して自分を裏切らなかった。「運も実力のうち」。愛用のグラブには"勝運"の文字。縁と才を持つ男は、勝利の女神にも愛される。

次はプロ野球界を"投"で魅せる!!

ハマの星へ

「応援される選手になりたい」。横浜でスター選手への道を歩む。プロ1年目の目標は、10勝を挙げること。「ずっと背中を見てきた森下さんを、いつか越せるように」。新人王が確実視される先輩をもしのぐ投手へ。「まだまだこれから成長する」。覚悟、自信、感謝、悔しさ。全てを込めて、魂の赴くままに。"投手・入江大生"の夢物語は、まだ始まったばかりだ。

【荒川千那】

◆入江　大生（いりえ・たいせい）栃木県出身。マイブームは「お花を摘むこと（笑）」。ちなみに好きな花はパンジー。語呂が良いためだとか。横浜でも持ち前のトークスキルで、ファンを笑顔にしてくれそうだ。右投右打。187センチ・87キロ。

作新 恩師が入江を語る

小針監督（左）、岩嶋部長

母校・作新学院高の小針監督と岩嶋部長に、入江について語っていただいた。

――高校入学当時の印象は

小針監督　生まれ持った素質はありましたね。（高校では）あとはどう努力するかを一緒にやっただけです。

岩嶋部長　ライバルがいっぱいいる、良い選手が入ってきてくれたと思いました。

――特徴を教えてください

小針監督　おっちょこちょいで面白いやつなんですよね（笑）。でもドジを踏んじゃっても、助けてくれるような人との出会いとか、そのような運がありますね。

岩嶋部長　監督が言った運や、人との縁は人一倍持っているかもしれないです。同級生からもですが、恐らく年上の人たちからもかわいがってもらえるようなタイプなんでしょうね。

――エールをお願いします

小針監督　ここからが本当の勝負だと思います。謙虚さを忘れず、周りの人々に愛される選手になれるよう、日々努力し続けてください。チームの勝利のためにマウンドで腕を振る姿を楽しみにしています。

岩嶋部長　プロの世界は全くの別世界です。作新学院高で身に付けた気合と根性を忘れず、明大で学んだ知識と人間力で競争を勝ち抜いてほしいと思います。そして、誰からも愛される選手、人々の記憶に残る選手になることを願っています。

明大スポーツ

明大スポーツ新聞
創刊　1953年
編集人　中野　拓士
東京都千代田区神田駿河台1の1
〒101-8301 TEL/FAX 03（3233）3760
http://meisupo.net/

11月12日　木曜日
令和2年（2020年）
第505号

㊍うどん丸香

お祝いのコメント

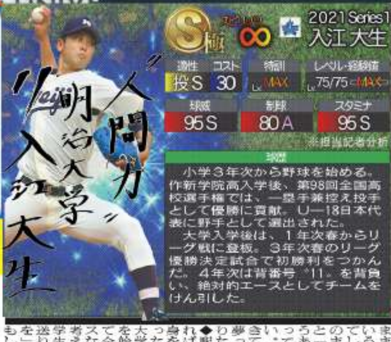
森下暢仁選手（現広島）

「部屋も一緒で、一番かわいがってた後輩です。1位で指名されてうれしく思います。自分たちの在学中は、後に付いてくる感じでしたが、4年生になって一人しかいなくなったとき、自分が引っ張る気持ちが芽生えたのではと思います。ここからがスタートラインなので、1年目から活躍できるようにけがなく準備をしてほしいです」

伊勢大夢選手（現横浜）

「1位という評価を受けて、先輩として誇りに思います。同じ横浜の一員としてプレーできることがうれしいです。最上級生になってから強い責任を持って登板する姿を目にして、とても成長したなと感じました。プロは長い日数をかけてシーズンを戦うので、コンディション管理が非常に難しいです。体調管理は高い意識で取り組んでほしいです。共に頑張りましょう」

スポーツ報知SNS
スポーツ、芸能…情報がいっぱい！
HP https://hochi.news
ツイッター @SportsHochi
インスタグラム
衝撃の写真 @hochi_photo
感動の紙面 @hochi_hensei
スポーツ報知のゆるキャラ「Ho!さん」です



経歴

小学3年次から野球を始める。作新学院高入学後、第98回全国高校選手権では、一塁手兼控え投手として優勝に貢献。U―18日本代表に野手として選出された。

大学入学後は、1年次春からリーグ戦に登板。3年次春のリーグ優勝決定試合で初勝利をつかんだ。4年次は背番号"11"を背負い、絶対的エースとしてチームをけん引した。

母・小夜里さん 喜びの声

「家族全員で大喜びした」

（ドラフト会議では）まさかこんなに早く呼んでいただけるとは思っていなかったので、驚きの方が強かったです。

「小学生の頃からとにかく野球が好きだった」

暗くなっても一番最後まで練習をしていました。当時は玉ネギが嫌いでしたが、野球がうまくなれるなら食べるって（笑）。それからは好き嫌いなく食べてくれました。

「人に恵まれているところが、あの子の財産」

多くの人に支えられてここまで来れたと思います。これからもみんなに応援していただける、一生懸命プレーする選手になってほしいです。

【荒川千那】

ホイッスル

「なんのために生まれて　なにをして生きるのか　こたえられないなんて　そんなのはいやだ！」アンパンマンの主題歌の冒頭だ。ホームで電車を待っていたら、隣で子どもが口ずさんでいた。歌詞の意味について深く考えるような性格ではないが、頭の中で何度もこのフレーズが再生された。どうしても聞き流すことはできなかった。自分の現状を指摘されているように感じたから◆振り返ってみると、これまでは目の前のことで精いっぱいだった。部活や学校行事には全力で取り組んだ。受験生の時も「絶対志望校に合格する」、その一心で毎日を過ごしていた。しかし、大学生活の半分が終わろうとしている今、自分はいったい何に向かって過ごしているのだろう◆小さな頃はなりたいものであふれていた。何にでもなれる気がしていた。でも今は違う。新しいことを始めるには勇気が必要だし、本当にできるのかと不安になることもある。そもそも自分が今どこにいて、どこへ向かっているのかすら見えてこない。このまま過ごしていてもあっという間に大学生活は終わってしまうだろう。本当にこのままで良いのかな◆きっと「何にでもなれる」といろあの頃の気持ちがなくなってしまったわけではない。なぜならまだ挑戦もできていないのだから。私の夢ってなんだろう。私がなりたいものってなんだろう◆駅であの歌を耳にしなければ、こんなふうに自分自身を見つめ直すこともなかっただろう。もしかすると大学4年間は、新しいことを始めたり、目標に向かって全力になる最大のチャンスなのかもしれない。そう考えると、やはり残りの大学生活は悔いのないように送りたい。「忘れないで夢を」追い求めるのも一つかもしれない

◆入江の投手成績◆

年・季	試合	勝利	敗戦	回	防御率
1年春	3	0	1	5	7.20
1年秋	3	0	0	4 1/3	6.23
2年春	1	0	1	4	4.50
2年秋	5	0	2	17 1/3	3.12
3年春	6	1	0	8	3.38
3年秋	8	1	1	22	0.82
4年春	3	0	1	12	1.50
4年秋	8	3	1	38 1/3	2.35
通算	37	5	7	111	2.59

レイアウト　上松凜助

横浜DeNA　ベイスターズ
1位指名　おめでとう。
明治大学校友会栃木県支部　支部長 長谷川薫 幹事長 半谷由夫

年間購読のお申し込みは080-4083-5789